

(参考様式4)

事業所名 グループホームふれあい

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	平均介護度4と重度化している。スタッフも高齢化しており身体的な負担がある。	ご利用者、スタッフ共に負担の少ないケアを実践するため、ご利用者個々に合った介助方法を学ぶ。	福祉用具の勉強。職員間でケア方法の情報を共有し、最適な方法を習得する。	6ヶ月
2	35・36	コロナ禍において外出が行えず、利用者様の楽しみが減っているのではないかと。	十分な感染対策を行い、地域の感染状況に即した楽しみのある生活を送る。	季節の行事、近場の散歩、ドライブ等出来る範囲での活動を行う。	12ヶ月
3	2	コロナ禍において地域の方との交流が減っている	地域の感染状況をみながら、地域行事への参加を行いたい。	地域の清掃活動、高齢者クラブ、サロンへ可能な範囲で参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。